



新型 Audi RS 3：比類なきスポーツ性能と日常ユースを両立

- 400PS の最高出力と 500Nm の最大トルクを発生する 5 気筒エンジン
- RS トルクスプリッターと新しい RS 3 ドライブモードにより、俊敏性がさらに向上
- 表情豊かなエクステリアデザインとレーシングカーの雰囲気を持ったインテリア

(ドイツ本国発表資料)

2021 年 7 月 19 日、インゴルシュタット：0～100km/h 加速 3.8 秒、最高速度 290km/h、RS トルクスプリッター、セミスリックタイヤ、そして専用 RS ドライブモード。新型 Audi RS 3 は、セグメント最高レベルのドライビングダイナミクスを提供します。294kW (400PS) を発生する 5 気筒ターボエンジンは、酔いしれるようなサウンドとともに圧倒的な加速を実現します。最大トルクは 500Nm に引き上げられ、レスポンスもさらに鋭くなりました。視覚的にも、RS 3 のスポーツ DNA が表現されています。ワイド化されたボディには RS スポーツエキゾーストシステムが組み込まれ、コクピットにはレーシングカーの雰囲気が漂います。

Audi Sport GmbH マネージングディレクターのセバスチャン グラムズは、次のようにコメントしています。「第 3 世代の Audi RS 3 Sportback と第 2 世代の Audi RS 3 Sedan は、日常ユースに適したプレミアムスポーツカーとして、公道でもサーキットでもスリリングなドライビングを提供します。この 2 台は、RS の世界へのエントリーモデルであり、トルクスプリッターにより、コンパクトセグメントにおける究極のパフォーマンスを発揮します」

比類なき加速と最高速度：2.5 TFSI

5 気筒ハイパフォーマンスエンジンを搭載する Audi RS 3 は、セグメントにおいて唯一無二の存在となっています。2.5 TFSI ユニットの、9 年連続で「インターナショナル エンジンオブザイヤー」の部門賞を受賞しています。最新世代に進化を遂げたアウディのコンパクトスポーツカーは、同モデル史上最高のパワーを獲得しました。新型 Audi RS 3 は、0～100km/h をわずか 3.8 秒で加速します。最高速度は 250km/h に制限されていますが、オプションで 280km/h に引き上げることも可能です。さらに RS ダイナミックパッケージとセラミックブレーキを装着すると、最高速度は 290km/h に達します。Audi RS 3 は、加速性能および最高速度においてもクラス最高の数値を誇ります。その秘密は、2,250～5,600rpm の幅広い回転域で発生する最大トルクです。これは、先代モデルよりも 20Nm 増加しています。この結果、Audi RS 3 は、特に低速域の加速パフォーマンスがさらに強化されています。最高出力 294kW (400PS) の発生回転数は 5,600rpm と、先代モデルよりも引き下げられているだけでなく、7,000rpm までそのパワーを維持します。新しいエンジンコントロールユニットは、すべての駆動コンポーネントとの通信速度も向上しています。

5 気筒エンジンのパワーは、7 速デュアルクラッチトランスミッションによって路面に伝達されます。また、迅速なシフトチェンジとスポーティなギア比を特徴としています。エンジン点火順序は、1-2-4-5-3 と独自のシーケンスが採用されたことで特徴的なサウンドを発生し、さらに爽快なドライブ体験を提供します。エキゾーストシステムには、完全に可変タイプのフラップ制御システムが採用され、中間ポジションに設定することも可能になったため、サウンドの幅がさらに広がっています。サウンドの特性は、アウディドライブセレクト ドライビングダイナミクスシステムで調整することができます。たとえば、ダイナミックモードおよび RS パフォーマンスモードでは、フラップがより早い段階で開き、エモーション

ナルなサウンドを奏でます。また、オプションの RS スポーツエキゾーストシステムを装着すると、5 気筒エンジンの紛れもないサウンドがさらに強化されます。

最高の敏捷性：RS トルクスプリッターと専用の RS 3 モード

新型 Audi RS 3 は、アウディモデルとして初めて、トルクスプリッターを標準装備しています。これは、リヤアクスルディファレンシャルや従来のリヤアクスル マルチプレートクラッチパッケージに代わるものですこのニューモデルでは、電子制御式のマルチプレートクラッチが左右のドライブシャフトに駆動力を配分します。これにより、左右のリヤアクスルにトルクが理想的に配分されます。スポーティな走行時に、トルクスプリッターは、より大きな負荷がかかる外側リヤホイールの駆動トルクを増加させ、アンダーステアの傾向を大幅に軽減します。左コーナーでは、右リヤに駆動トルクを配分し、右コーナーでは、左リヤに配分します。直進時には、左右のホイールに均等にトルクを配分します。

この新しいテクノロジーにより、サーキットでは車両を完全にコントロールした状態でドリフト走行することが可能になります。この場合、トルクスプリッターは、すべてのパワーを左右いずれかのリヤホイールだけに伝達します。各ホイールには、最大で 1,750Nm のトルク伝達が可能です。アウディは、ドリフト専用の「RS Torque Rear」(RS トルクリヤ) と呼ばれるモードを開発しました。このドリフトモードでは、トルクスプリッターのトルク配分曲線が専用のセットアップに切り替わります。サーキット専用に設計した RS パフォーマンスモードも、これまでにはなかった革新的テクノロジーです。このモードでは、RS 3 に初めて工場オプション設定されるセミスリックタイヤに合わせて、エンジンおよびトランスミッションの設定が調整されています。この場合、トルクスプリッターは、アンダーステアとオーバーステアを可能な限り抑え込み、非常にダイナミックでスポーティな走りを実現します。これらのモードは、アウディドライブセレクト ドライビングダイナミクスシステムで選択できます。アウディドライブセレクトには、コンフォート、オート、ダイナミック、RS インディビジュアル、エフィシェンシーの各モードも設定されています。

さらにダイナミックに、さらに精密に：RS スポーツサスペンション/より大きなホイールキャンバー

標準装備される RS スポーツサスペンションには、RS 3 専用に新開発されたショックアブソーバーとバルブシステムが装着されています。このバルブシステムにより、ショックアブソーバーは、伸び側および縮み側ともに非常に敏感なレスポンスを示します。これにより、このサスペンションシステムは、現在のドライビングコンディションに対して、これまで以上に迅速かつ効果的に対応することができます。さらに、アダプティブダンパーコントロール付き RS スポーツサスペンションプラスも用意されています。

このシステムは、道路状況、運転状況、アウディドライブセレクトで選択されたモードに合わせて、各ショックアブソーバーを連続的かつ個別に調整します。ショックアブソーバーの特性は、快適性、バランス、スポーツ性を重視した 3 つのモードが用意され、これまで以上に幅広い可変幅を持っています。

ホイールキャンバー角を大きくした結果、さらに正確なステアリングレスポンスとコーナリングフォースの増加がもたらされます。Audi A3 と比較すると、新型 RS 3 のフロントホイールには、約 1°大きなネガティブキャンバーが設定されています。これを実現するために、ピボットベアリングが変更され、ロワーウィッシュボーンベアリングの剛性を上げて、ジオメトリー変更に対応しています。フロントアクスルには、サブフレームやスタビライザーも装着されています。リヤアクスルは、別体式のスプリング/ダンパー、サブフレーム、チューブラースタビライザーバーを備えた 4 リンクデザインを採用しています。Audi A3 および S3 よりも剛性の高いホイールキャリアは、トルクスプリッターによって発生する横方向の力の増加を吸収します。リヤホイールのネガティブキャンバーは、A3 比で約 0.5°増加しています。RS 専用プログレッシブステアリングは、操舵角に応じてギアレシオを変化させます。操舵角が大きくなると、ギアレシオが小さくなり、ステアリングがいわゆるダイレクトになります。また、速度

に応じたパワーアシストを提供し、アウディドライブセレクトを介して設定を変更することができます。スプリングおよびショックアブソーバーは、かなり硬めに設定されています。車高は、S3 比で 10mm、A3 比で 25mm 低くなっています。

RS 3 に新たに追加されたもう 1 つの機能は、モジュラービークルダイナミクスコントローラー (mVDC) です。この集中制御システムは、横方向のダイナミクスに関連するすべてのコンポーネントからデータを取得し、それらのコンポーネントがより正確かつ迅速に作動できるように調整します。mVDC は、トルクスプリッター、アダプティブダンパー、ホイールセレクトィブトルクコントロールを同期させ、正確なステアリングと取り回しを実現します。全体として、特にワインディングロードにおける敏捷性が向上しています。

パワフルなブレーキ：6 ピストンスチールおよびセラミックブレーキシステム

RS 3 には、強化された 5 気筒エンジンのパワーに合わせて、新開発の大径 6 ピストンスチールブレーキが標準装備されています。また、380x38mm のフロントセラミックブレーキがオプション設定され、ブレーキブースターに合わせてペダル特性が調整されています。このハイパフォーマンスブレーキシステムは、スチールブレーキよりもさらに 10kg 軽量です。内部ベンチレーション機能を備え、ドリル加工されたディスクのサイズは、フロントが 375x36mm、リヤが 310x22mm です。このディスクは、先代モデルよりも大径で、より高い安定性を誇ります。エアコントロールエレメントにより、ブレーキ冷却時間が 20%短縮されました。これにより、ハードブレーキング中のピーク温度がより迅速に低下する一方で、ペダルフィールは一定に保たれます。さらに、ブレーキパッドの摩耗も減少します。表面積が 15%増加したパッドは、銅を含まない材質になっています。セラミックブレーキを選択すると、ブレーキキャリパーをグレー、レッド、ブルーから選択できるようになります。スチールバージョンには、標準色のブラックに加えて、レッドがオプション設定されています。

独自の個性を備えた豊かな表情：エクステリアおよびライティング

新型 Audi RS 3 のデザインは、先代モデルよりもさらにダイナミックでパワフルです。フロントには、ワイドな RS バンパーが装着され、デザインが変更されたシングルフレームには印象的なハニカムグリルが組み合わされ、大型エアインテークがコンパクトスポーツカーのエクステリアに豊かな表情を生み出しています。

RS 3 には、フラットなウェッジシェイプ LED ヘッドライトと LED テールライトが標準装備されます。どちらのシステムにも、ダイナミック ターン インジケーターが組み合わされます。マトリクス LED ヘッドライトは、オプション設定されています。ダークカラーのベゼルには、エッジのあるデジタルデイトタイムランニングライトが内蔵されています。3x5 ピクセルの LED セグメントにより、紛れもない外観が完成しています。ダイナミック リーピングホーム/カミングホーム機能が作動すると、左側ヘッドライトにはチェッカーフラッグが描き出され、ドライバー側には RS 3 の文字が投影されます。走行中は両側にチェッカーフラッグライトが点灯します。

フロントホイールアーチ後方には、新たなデザインエレメントとして、人目を惹くエアアウトレットが設定されました。ブラックトリムのロワーサイドシルもデザインが見直され、大きく張り出したホイールアーチとともに、新型 RS 3 の表現力豊かなエクステリアに貢献しています。フロントトレッドは、先代モデルと比較して 33mm 拡大されています。Sportback では、リアトレッドも 10mm 広げられました。RS 3 には、10-Y スポークデザインの 19 インチ鋳造ホイールが標準装備されます。さらにレーシングカー的なデザインを求める方のために、RS ロゴが施された 5-Y スポークホイールがオプション設定されています。またアウディ史上初の試みとして、ピレリ P Zero “Trofeo R” パフォーマンス セミスリックタイヤをオプション設定しています。モータースポーツを連想させる装備としては、ディフューザーが統合された RS 専用リヤバンパーに加え、2 つの大きな楕円形テールパイプを備えた RS エキゾーストシステムが挙げられます。

新型 Audi RS 3 には、キャラミグリーンとケモラグレーの2つの専用色が設定されています。今回初めて、Sedan のルーフをコントラストカラーのブリリアントブラック仕上げにすることもできます。シングルフレームのハニカムグリルをはじめとする個々のエクステリアパーツは、マットブラックまたはハイグロスブラック仕上げが標準設定されます。オプションとして利用可能な「Alu-Optic Trim」パッケージを装備すると、フロントバンパー、ディフューザーインサート、ウィンドートリムにアクセントが追加されます。スポーティなスタイルを強調するには、カーボンファイバー強化ポリマーによるサイドイシル インレイが用意されます。同じ仕上げを、Sedan のドアミラーカバーとテールゲートスポイラー、Sportback のルーフエッジスポイラーにも施すことができます。

正真正銘のレーシングフィーリング：インテリア

インテリアにも数多くの RS 専用コンポーネントを装着して、スポーツ性を強調しています。12.3 インチ ディスプレイを備えたアウディ バーチャルコックピット プラスが標準装備されます。このディスプレイは、エンジン回転数をバーグラフで表示するだけでなく、出力とトルクをパーセンテージで表示することもできます。オプションで、新しい「RS ランウェイ」デザインのタコメーターが設定されました。このオプションが装着されている場合、滑走路を思わせる独特のスタイルで、通常とは反対方向に（最高値が手前、最低値が奥に）エンジン回転数が表示されます。さらに、アウディバーチャルコックピットプラスには、加速度 (G)、ラップタイム、0~100km/h 加速、0~200km/h 加速、1/4 マイル (400 メートル) 加速、1/8 マイル (200 メートル) 加速の表示も含まれています。

RS 専用のシフトインジケーター (マニュアルモードで作動) は、グリーン、イエロー、レッドと色を変えながら、まさにレーシングカーのように点滅して、理想的なシフトアップタイミングをドライバーに知らせます。10.1 インチタッチディスプレイには、クーラント温度、エンジン温度、トランスミッションオイル温度、タイヤ空気圧が表示されます。また、Audi RS 3 としては今回初めて、シフトライトインジケーターの他、各種情報をドライバーの視界内のフロントウィンドーに表示するヘッドアップディスプレイも設定されます。

カーボンファイバー製インストルメントパネルや RS エンボス加工が施された RS スポーツシート、アンスラサイトのコントラストステッチも、レーシングカー的な雰囲気作りに貢献しています。シート地には、RS ハニカムステッチとコントラストステッチが施されたファインナッパレザーも用意されています。ステッチカラーは、光沢ブラックとレッドに加えて、今回初めてグリーンが設定されました。RS デザインパッケージにもレッドとグリーンを設定し、組み合わせて利用することができます。このパッケージには、コントラストステッチと RS 刺繍が施された専用フロアマットとカラーエッジ付きシートベルトが含まれます。デザインパッケージプラスを選択すると、シートバック コーナー (肩の部分) にレッドまたはグリーンの装飾が付き、さらにエアイベントにもアクセントカラーが配されます。

すべてを制御下に：12 時マーカーストライプと RS モードボタンが配置されたステアリングホイール

RS 3 には、ボトムフラットの 3 スポーク RS スポーツマルチファンクション レザーステアリングが標準装備されます。このステアリングには、高品質なダイキャスト亜鉛シフトパドルが装着されています。デザインパッケージを選択すると、RS バッジに加えて、12 時位置にストライプマーカーストライプも施されます。あるいはハンズオン検知機能 (静電容量式タッチセンサー) を備えた RS ステアリングホイールも設定されますが、こちらは円形になります。どちらも、ステアリングホイールスポークの右側には、共通の新しい RS モードボタンが配置されます。このボタンは、アウディドライブセレクトモードの RS パフォーマンスまたは RS インディビジュアルモードを選択する場合や、前回設定したモードを呼び出したい時に使用します。どちらの RS モードを選択しても、インストルメントディスプレイとヘッドアップディスプレイがスポーティな表示となり、点滅式シフトインジケーターも表示されます。

発売情報：市場導入時期と価格（欧州仕様）

Audi A3 Sportback および RS 3 Sedan は、2021 年 8 月半ばからヨーロッパで注文の受付が開始されます。新型 RS 3 は、ヨーロッパでは今秋に発売されます。RS 3 Sportback のベース価格は 60,000 ユーロ、RS 3 Sedan のベース価格は 62,000 ユーロです。

※本リリースは AUDI AG 配信資料の翻訳版であり、すべて欧州での事情、仕様、装備に基づいています。